1　０より小さい数　（教科書Ｐ１２～Ｐ１４）　2024 年度版

★クイズの番組の「得点と減点」や、「財産と借金」など、世の中には「反対の性質や方向を持った量」が多く存在しています。
この他に、どんな例があるでしょう。

例 ①（得点・・・＋３点　減点・・・－５点）　②（財産・・・＋７万円　借金・・・）

③（・・・　・・・）　④（・・・　・・・）

ポイント①性質が反対である２つの量や、向きがたがいに反対である２つの量があるとき、一方を＋（プラス）、他方を－（マイナス）の記号を使って表すことができる。

ポイント②　－３や－５のような０より小さい数を［　　］、
＋５や＋８のような０より大きい数を［　　］という。

このとき、「＋（プラス）」を［　　］、「－（マイナス）」［　　］という。

注意　０は正でも負でもないので、＋、－の符号はつけない。
正の数は、よく＋の符号を省いて書くことが多い。

整　数

・・・、－３、－２、－１、０、１、２、３、・・・

負の整数　　**正の整数**

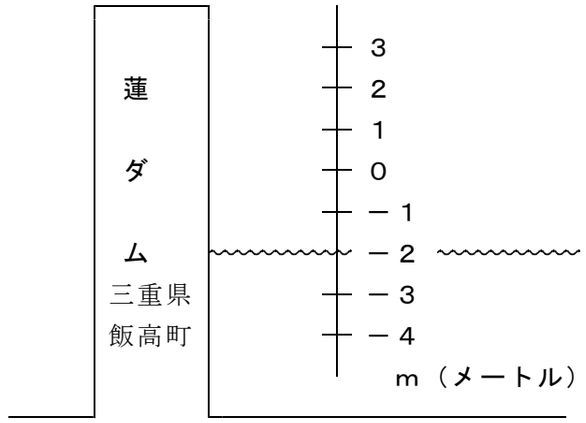
正の整数　１，２，３，・・・・を、［　　］ともいいます。

＜練習１＞次の数を、正の符号、負の符号をつけて表しなさい。

①０より１２小さい数　［　］　②０より９大きい数　［　］

③０より１．５大きい数　［　］　④０より $\frac{2}{3}$ 小さい数　［　］

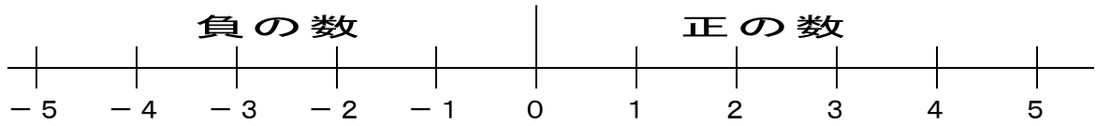
★ダムの水位の変化は、正の数・負の数を用いると増減がわかりやすく表せます。



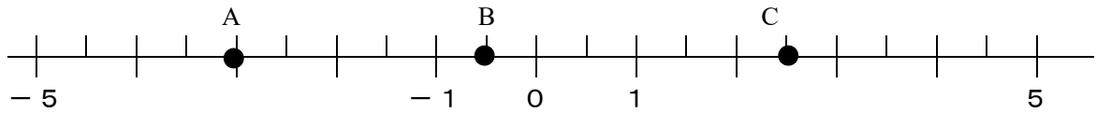
左の図のような、正の数・負の数を記入した物差しがあると便利です。

今日の水位は
－２ｍ

このように、正の数・負の数の目もりがつけてある直線を**数直線**という



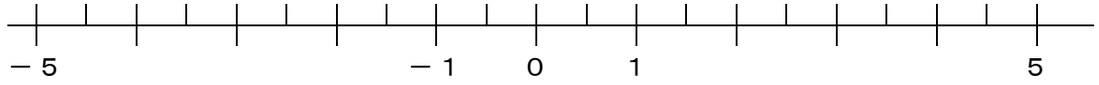
＜練習２＞下の図のＡ～Ｈを表す数を言いなさい



Ａ［　］　Ｂ［　］　Ｃ［　］

＜練習３＞数直線上に、次の数を●で書き込みD～Gで示しなさい。

Ｄ ２．５、Ｅ －１．５、Ｆ $\frac{9}{2}$、Ｇ ＋３．５、



＜練習４＞次の数の中から、整数、負の数、自然数をすべて選びない。

－3.2　，　0　，　$\frac{2}{3}$　，　－10　，　$-\frac{5}{6}$　，　0.2　，－1　，　+9　，　6　，　－0.1

整数［　　］　負の数［　　］　自然数［　　］